



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
一人一人が輝く子どもの姿を求めて



☆10月の目標

☆学習をがんばろう
☆みんなと
なかよくしよう
☆笑顔で
あいさつしよう

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り
- ☆保護者の会から
 - ・安パト・ベル当番
 - ・バザーについて

☆今後の行事計画（10月）

28日 授業参観、バザ、漢字検定

☆六年一組「未来がよりよくあるために意見文を書こう」

「平和でいるため」吉村 泉希

これからずっと平和でいるためには、未来をよりよくして安全に暮らすこと。そのためには、周りに気を使い、優しく、愛情豊かになることだ。私は、これが平和だと考えた。ニュースを見たから、かたが当たっただけなのに、ケンカになってしまふ。ケンカをしたら、どっちも不機嫌になり、もっとケンカが激しくなるかもしれない。もし、かたが当たったり、ぶつかってしまつたら、謝ればいい。同じ場所に行きたかつたら、ゆずり合えばケンカにならないと思う。相手の気持ちをまず考えて、自分のことを考えれば、ケンカをせずに平和に解決できる。でも忙しいと相手のことをあんまり考えないかもしれない。だが、言葉づかいは気をつけた方がいいと思う。特にお年寄りや子供に気をつけたい。悪い言葉づかいをしたら、悪い印象を持たれる。歩いてる時に、人と目があつたら、「ニコッ」と笑うといいと思う。相手が好感を持つ。愛情豊かになれば、争い事はなくなると思う。これからずっと平和でいてほしい。周りのことを考え、自分のことも考えて身の回りを平和にしていきたい。私は、みんなとで平和にすることがよりよい未来にすると思



☆六年一組「未来がよりよくあるために意見文を書こう」

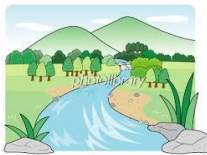
「未来がよりよくあるために」

日置 庵文

未来がよりよくあるために、自然を守ることが一番大切だと思います。自然には、山、川、海などがあり、ぼくたちにとって身近で大切なものです。未来がよりよくあるために、自然が一番大切だと思わない人もいると思うけど、ぼくは資源を大切に使う事が、今後の未来にとって一番大切だと思います。

なぜ自然が一番大切な事だと思ふかというと、山に木がなくなつた場合、空気中の二酸化炭素が増え、熱が地球からにげることが出来なくなり、地球温暖化の原因になります。水が汚れると海中でプランクトンが増えて、海が赤くなる赤潮が発生し、海の中が酸素不足になって魚や貝が住めなくなつてしまふ。川の場合同も、汚れると魚が住めなくなり。こんな状態だと、自分たちの生活にもえいきょうが出ると思ふ。未来がよりよくあるために、自然を守り資源を大切にすることが、良い未来を残すための必要な事だとぼくは思ふ。

全ての人が自然を大切に思ふ気持ちがあれば、何十年、何百年、何千年と、緑が綺麗な山々や、青い海や、清い川がある地球が続くはずだと思ふ。



☆五年二組

「日本の神話」

西川 日菜

私が紹介する本は、松本みよ子の「日本の神話」です。この本は日本の神話がテーマになっていますが、有名な昔話がたくさん書いてあります。例えば、国つみ「あれはスサノオ」「いなばの白ウサギ」などいろいろ話がかかれてます。この本の中には、面白い解説文も入っています。やまたのおろち「は、毎年八つ頭の大きなへびが来て、娘をつれていってしまふのをスサノオがへびに酒を飲ませて、やつつけてしまふはなしです。話は、生き生きとえがかれている名作ですが、解説もまた面白いです。いなばの白ウサギ」の話では、ウサギがワニをだまして川を渡る話がありますが、日本にはワニはいないので、実はサメだったので、実はサメが面白いです。この本は、とても生き生きと絵がかかれていますので、みなさんも一度読んで見て下さい。



☆三年一組 感想文

村上 正頼

ぼくは、伊きりゆうの「サバイバル」という本を読みました。この話は、三人の男の子が学者のお姉さんとラフティングをするお話です。ラフティングの中に滝がありまして。滝ははじめから滝だと思っていたら、水のいきおいが強いと川の底がけずれて滝が出来た事を知りました。これからは流れの強い川を見たら、ぼくは、滝があるかも知れないと思うようになりました。ほかに、きょうこのくことがいろいろ書いてありました。この本を読んで、ぼくはラフティングの細かい情報が、かいてあるので、何回も読みたくなりました。



☆三年一組 感想文

北口 りんか

私がこの本をえらんだ理由は、表紙の絵を見ておもしろそうだなと思ったからです。この本の主人公はナガクツシタノのピッピで私と同じ九才の女の子です。一番おもしろかったのは、はじめて学校に行ったとき、先生が好きな絵を書いてと紙をわたしたとき、ピッピが紙をくしゃくしゃになっってしまったので、ゆかにかいたところです。わたしならそんなことをしません。ほかにも、学校にサルをつれてきたり大きな男の子を持ち上げたり、てっぽうをてんじょうにうったりと同じ年の子とは思えないです。でも、ピッピがいろいろなことをするので、おもしろかったです。



☆三年一組 「もうすぐ雨に」を読んで

イレレジ オマサン

この話の一番楽しかったところは、カエルが「ありがとう」って言ったのが男の子みたいに見えてたのしかったです。カエルの絵がおもしろかったです。けさ、ぼくは、生き物をあみ戸とまどガラスからだしました。ぼくの生きものは、クウって言うてるみたいでした。



☆二年二組 絵手紙

にしお けんと

おじいちゃんとおばあちゃん、おもちゃを買ってくれてありがとう。それから、おとうさんとおかあさんをうんでくれてありがとう。おじいちゃんとおばあちゃんが、おすきだよ。にもつもおくってくれてありがとう。また、たのしみにしてよ。



☆二年二組 絵手紙

ホワイトマンみな

こんにちは、みなだよ。日本は、あついですか。また、ひこうきで日本に行きたいね。チョコレートをかいにセブンイレブンに行くよ。



☆二年二組 絵手紙

田川 し音

お空のおじいちゃん、いつも見てくれてありがとう。日本のおばあちゃん、小さい時遊びに来てくれてありがとう。来年、日本でいっしょに遊ぼうね。



